

10月4日（日）の近鉄特急に乗った時の備忘です。

8時50分発の12200系を近鉄名古屋駅で見物し、名古屋港水族館を見たあと12時30分近鉄名古屋発の12200系で伊勢中川（難波行きなので途中で乗り換え）まで向かう予定だったがどちらも12200系ではない事が判明したので（前の日に判明していた。ネットの予約でどちらも喫煙室ありになっており、12200系ではない事が分かっていた。実際にどちらも近鉄名古屋駅で目視確認した。）予定を変更し、特別料金不要の12時41分発急行五十鈴川行きに乗車した。

桑名の少し先（伊勢中川側）ですれ違った桑名13時00分発近鉄名古屋行きは名古屋側が12200系だった。時刻表を見たら折り返しだと14時10分発かな。他は汎用形特急車両ではなかったので、14時10分近鉄名古屋発を松阪から乗車しようと予定を変更することにした。南が丘の少し先（伊勢中川側）ですれ違った特急列車は12200系の4両編成だった。これは事前に調べたとおりの予定どおりだった。

伊勢中川駅で東青山行きの普通列車に乗り換え川合高岡駅で下車。徒歩で名松線の一志駅へ向かい一志から松阪行きに乗り継ぎ（結構際どいので事前に準備というか調査をしておいて良かった。一志駅では一呼吸付いて少ししたら列車がやってきた。）、予定通り松阪に到着した。

14時10分近鉄名古屋発は15時18分松阪発なので松阪駅で少し時間があり、時間をつぶしたがJRの列車を多数？見る事ができた。なお特急券は松阪駅滞在中にネットで購入した。

やってきた特急列車は賢島側が22000系で名古屋側がビスタカーの8両編成だった。ネット予約するときシートマップをよく見ればよかった。そうすればすれ違った列車かどうか判断できたのに。すなわち賢島側がビスタならビンゴ（自分が予想したとおり）だったが来たのは名古屋側がビスタだった。と言う事は桑名ですれ違った特急は折返し回送とかだったのだろう。実はシートマップを見るとビスタが賢島側か名古屋側か分かる。

名古屋側が12200系のつもりで車掌室側の海側の席を選択したのだが、賢島側の先頭車で海側の席は間違いはないが、運転室と反対側のデッキよりの席になった。

あとから分かったのだが、4両プラス2両、4両プラス4両の場合、12200系を連結しているかはシートマップの喫煙室の有無で分かる。そしてビスタカーと併結する4両編成は必ず22000系以降の汎用形特急車両が充てがわれていた。

松阪から伊勢市まで貸切状態で22000系を満喫した。外はそうでもなかったが内装は綺麗で更新してからあまり経っていないのでは。この特急に乗っていたら明星検車区に12200系が1編成止まっていた。

伊勢市到着は15時31分。外宮には行けたが、せんぐう館を見るには時間が足りなかった。次回にする。松阪からの特急にこだわらなければ、せんぐう館を見学する時間はあったと思う。

帰りは宇治山田からしまかぜに乗車。富吉検車区に12200系が1編成止まっていた。しまかぜは少し遅れて、と言っても3分くらいか、近鉄名古屋に到着。ここから1時間半程、19時15分の松阪行きまで特急列車の発着を眺めていたが、あるかもしれない汎用形特急車両どうしを連結した8両編成は見れなかった。ようは8両編成の中に12200系

が入っていないか連結してないかを期待していた。よく覚えていないが汎用形特急車両を連結した6両編成も見かけたと思うが残念ながら12200系との併結ではなかった。のちに分かったのだが、ネット予約する時のシートマップから喫煙室の位置を見る事で12200系併結列車か判断できる事が分かった。あと、到着した列車は一旦は米野駅に引き上げるのかと思っていたが、折り返し車内整備清掃で出発するのもあった。

ここで、近鉄名古屋駅で、桑名20時34発・近鉄名古屋20時52分着の特急券をネットで購入。喫煙室はありませんの表示は変わっていない。多分12200系が来るだろう。

19時15分の松阪行きを見送ったあと19時19分の準急近鉄四日市行きに乗車し桑名駅で難波からの12200系特急を待つ。桑名駅でも40分強の待ち時間(19時48分着で20時34分まで)があったが、通過する甲特急を含めて1時間あたり4本の特急列車があり、上り下りあるから1時間あたり8本見れるし、車種も多いので見ていて飽きない。

いよいよ20時34分が近づいてきた。暗い、遠目だが通過表示灯の位置というか形で12200系だと分かる。心の中でガッツポーズをした。車内は午後に松阪から伊勢市まで乗車した更新済みの22000系よりはどうしても劣る。せっかくだし車内を巡回し一通り見物した。シートマップは今度は間違えなかった。最後尾の車掌室付近の座席を選択した。折り返しの時、見物のしやすさを考慮した。近鉄の公式サイトでも明記されているが名古屋側の先頭車両、1号車は元喫煙車両なので禁煙派には他の車両がオススメ。

この12200系は近鉄名古屋駅4番ホームから一旦米野駅まで引き上げる。車両の整備清掃をするためだ。

そしていよいよ21時30分発最終難波行きとして5番ホームに入ってきた。難波側の先頭車両は12234で最も古い時期に製造された車両でしかもパンタグラフは菱形だった。

これの発車を見届けたのち、急ぎ足で東海道新幹線の人になった。乗ったひかり号(21時37分発)も小田原への最終列車だった。

以上

道中における追記

伊勢中川駅で東青山行きの普通列車に乗り換え川合高岡まで普通列車に乗車したが2両編成で乗客は自分を入れて2名。でも車掌さんは乗車していた。

車掌さんに乗車券を回収してもらおうと渡したら、なんと川合高岡駅で特別改札を実施しており、特別改札終了の頃に川合高岡駅に到着するから乗車券を持っていてくださいとの事だった。

しまかぜでは乗車してすぐにカフェに並び、カフェの車内で松阪牛重と瓶ビールをいただいた。100系グランドひかりの食堂車や787系のビュッフェが終わってしまい久しいが、列車内で再び食事ができるとは夢にも思わなかった。本当に嬉しかった。ここでの食事は予約制ではなくフラッと出かけて食べられるの意味。

帰路のひかり号では遅い時間帯にもかかわらず車内販売があり、利用させてもらった。最近ひかり号に3回乗ったがいずれも品川と新横浜を除く停車駅で後続ののぞみ号に追い越されるようだ。このひかり号も浜松と静岡に短時間の停車をしている間にのぞみ号に抜かれた。